

評価基準及び評価項目

評価項目	評価内容	評価の視点	配点
全体評価 (10)	事業への理解・知識	事業内容及び目的に関する理解・知識が十分にあるか。 ・本事業の目的を正確に理解しているか。(福山市多文化共生推進プランにおける位置づけ等) ・本市及び備後圏域市町の在住外国人の現状(在留資格・国籍・年齢等)を把握しているか。	10
組織評価 (25)	本業務に類する業務の受託実績	提案事業者が本業務と同種・類似業務の実績が十分あるか。 ・自治体関連の実績があるか。 ・同種・類似業務実施後の効果や成果はどうであったか。 ・外国人支援・多文化共生分野での活動状況	10
	業務実施体制・配置人員など	提案内容を実施できる人員が確保されているか。 ・講師は十分確保できるか。(資格、経歴、人数、代替要員等) ・補助講師は十分確保できるか。(資格の有無、経歴、人数等) ・講座における多言語対応(やさしい日本語、外国語)ができるか。 ・緊急時等の対応(トラブル、災害時の連絡体制、市との連携)	15
提案項目 (55)	提案内容の的確性	仕様書を的確に踏まえ、明確かつ具体的に提案されているか。 ・日本語初学者に適した提案内容か。(人員配置、開催曜日・時間等)	15
	企画の専門性及び独創性	仕様書に基づき、提案事業者の専門性やノウハウを活かした独創性の高い提案か。 ○カリキュラム ・A1～A2 レベルに到達するために、どのようなカリキュラムを構成するか。また、それに沿った教材を提案できているか。 ・生活オリエンテーションを含んだカリキュラムであるか。 ・オリジナル教材や ICT の活用等の提案があるか。	カリキュラム 10
		○修了後の文化体験・フォロー等 ・身に付けた生活のための日本語を活かせる独創的な提案か。 ・受講後、地域日本語教室への引継ぎや受講者の状況に応じた対応(オンライン教材の提案や就労支援機関への引継ぎ等)ができるノウハウがあるか。	修了後の文化体験 5
		○参加者周知・募集方法等 ・独自の情報発信プラットフォームや発信先があるか。 ・日本語初学者に適した周知方法が提案できているか。	周知・募集方法 15
事業実施の実現性	事業目的を達成する上で、実現可能な提案がなされているか。 ・1クールでA1～A2 レベルに到達するために必要な講座の進め方(宿題を課したり、アウトプットの時間を多く設定する等)の提案があるか。	10	
事業実施面 (10)	取組姿勢	業務に意欲があり、積極的な業務遂行を期待できるか。 ・事業の目的達成に向け、積極的に提案できているか。	5
	見積金額	業務実施にかかる所要経費は妥当性があるか。 ・人件費の適正性(過度な低価格ではないか) ・見積内容の明確性・妥当性	5
合計(100)			100